

講義名	簿記原理		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	島田 奈美		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限 / 前期 木曜日 4時限		
履修開始年次	2年生	単位数	4
		講義コード	13028

主題と概要

この講義では、会計学の基礎技術に相当する商業簿記を学習します。とくに履修者が困難と感じる学習項目をある程度の時間をかけて丁寧に説明する予定です。この講義で設定している目標は、履修者が簿記という記録方法の一通りの流れを理解し、かつ必要最小限度の計算問題を自分自身で計算できるようになることです。

到達目標

日本商工会議所主催の簿記検定試験3級全般に相当する内容について理解するとともに、簿記の基本的な仕組みを理解することができるようになる。

提出課題

現時点では課す予定はありませんが、講義の進捗度や理解度に応じて課す可能性があります。

評価の基準

以下の点を総合して評価します。出席点というものはありません。
 ・中間テスト（講義時間中3回実施）60%
 ・期末テスト 40%
 テストの日程などの詳細は第1回講義時に説明します。

履修にあたっての注意・助言他

・第1回目は成績評価の方法や講義の進め方についての説明をするので必ず出席してください。
 ・第1回目から講義を開始するので必ず出席してください。
 ・積み上げ型の講義なので、欠席が続いたり、復習をおろそかにした場合、突然講義内容が理解できなくなる可能性があります。
 ・簿記は、教員の説明をただ聴き、板書するだけでは理解できません。講義時間中に与える演習問題を積極的に解くことで知識を定着させ、その過程で理解が難しいものについては教員に質問し、テストに向けて講義時間外でも自習できる学生以外は単位取得は困難です。

教科書

.合格トレーニング 日商簿記3級 Ver.9.0 (よ TAC簿記検定講座 かわかる簿記シリーズ).	TAC出版	1500	4813269052
--	-------	------	------------

プリント資料及び参考文献

毎回資料を配布しそれに基づいて講義を実施します。講義の理解を促進するための資料なので、講義中に配布しますが、それ以降資料の再配布は行いません。

授業計画

1. 講義ガイダンス、複式簿記の意義
2. 簿記の仕組み
3. 仕訳と転記
4. 記帳ルールと帳簿
5. 簿記一巡の手続き
6. 現金と預金
7. 現金と預金
8. 商品売買
9. 商品売買
10. 中間テスト
11. 売掛金と買掛金
12. 手形取引
13. 手形取引
14. その他の債券・債務
15. 固定資産
16. 固定資産
17. 有価証券
18. 貸倒損失と貸倒引当金
18. 純資産と税金
19. 収益と費用
20. 収益と費用
21. 中間テスト
22. 伝票
23. 決算手続き
24. 決算手続き
25. 決算手続き
26. 精算表
27. 財務諸表の作成
28. 財務諸表の作成
29. 中間テスト
30. 復習とまとめ

予習・復習

担当教員の指示に基づき、各回に配布された資料を確認しながら問題を解いてください。必要に応じて教員が復習用の問題を配付することがあります。

備考

授業計画は、学習の進み具合により多少変更が出る可能性があります。中間テストの日程については教員からの案内（ポータル掲示も含む）に従ってください。